

第5航空群創立50周年記念特別号

沖縄の海を守り続けて半世紀～「今…この時も」



『美ら海の防人』

海上自衛隊 第5航空群



「第5航空群創立50周年挨拶及び着任挨拶」

第5航空群司令
海将補

降旗 琢丸

発行：沖縄二火会
(海上自衛隊第5航空群支援団体)
印刷：新栄印刷

第5航空群広報誌「でいご」をご覧の皆様、はじめまして。

令和4年3月30日付で第25代第5航空群司令を拝命し、第2航空群司令(青森県八戸市)から着任しました降旗琢丸(ふりはたたくまる)です。

平素より、本誌「でいご」を刊行していただいております沖縄二火会をはじめ、沖縄海友会、沖縄県防衛協会、沖縄県隊友会、沖縄県自衛隊家族会などの支援団体の皆様、そして地域の皆様の暖かいご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今回、沖縄本土復帰50周年の大きな節目となる年に、昭和47年生まれ(復

帰っ子)の私が那覇航空基地で、いたします。

第5航空群司令として勤務できますこと、感慨深く感じております。那覇航空基地での勤務は2回目、今回も妻と長女と一緒に赴任しました。よろしくお願いたします。

私が着任して早々、4月17日(日)に海上自衛隊第5航空群の50周年創立記念行事を開催いたしました。コロナ禍での記念行事であり、感染防止対策を厳重に実施しましたので、お越しいただいた方々にはご不便や、物足りない点があったかと思いますが、何より無事に挙行することができました。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。

特に、記念行事の後、ご招待した方々からお礼状を出す際に、沖縄二火会から「美ら海の防人カレール」を皆様にお送りしたいと申し入れがあり、同封させていただきました。私に対して「カレールありがとう」とお声がけいただく方が大勢おられますが、違うんです。カレールは第5航空群からではなく、沖縄二火会からのご提供であること、ここに強調し、改めまして

沖縄二火会からのご支援に感謝申し上げます。最後に、ウィズコロナにおける皆様のご健勝とご活躍を祈念し、引き続き海上自衛隊第5航空群へのご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

海上自衛隊 第5航空群

創立50周年記念式典



「美ら海の防人」
として誇りをもち
沖繩の海を守り
続けて半世紀

沖繩の本土復帰とともに歩んだ50年。海上自衛隊第5航空群は前身の臨時沖繩航空派遣隊から数えて今年で創立50周年を迎え、創立記念式典が4月17日に那覇航空基地で行われた。開式の辞の後、儀仗隊が入場し旗衛隊による国旗・自衛艦旗の掲揚、東京音楽隊のボーカリストにより国歌斉唱が行われ、その後、第5航空群司令(海将補 降旗琢丸)の式辞、航空集団司令官(海将 二川達也)による祝辞、そして、沖縄二火会会長佐久本武氏による来賓祝辞が行われた。式典では、50周年を記念して新たにデザインされたスコールドロン(部隊)マークの披露も行われ、



那覇航空基地 50 年のあゆみ

1972年 5月: 沖縄返還(本土復帰)臨時那覇施設管理隊設置



1972年 7月: 臨時沖縄航空派遣隊新編

昭和

P-2J 対潜哨戒機の配備



1972年 12月: 臨時沖縄航空派遣隊から臨時沖縄航空隊へ改編

1973年 10月: 臨時沖縄航空隊を沖縄航空隊へ改編



1981年 7月: 沖縄航空隊を第5航空群へ改編

平成

1990年 7月: P-3C 対潜哨戒機の配備



2009年 11月: 派遣海賊対処行動航空隊第2次要員出国(1回目)



2022年 4月: 第5航空群創立50周年記念行事



令和

2022年 5月: 派遣海賊対処行動航空隊第48次隊出国(18回目)



また式典終了後、東京音楽隊による祝賀演奏に続き、第5航空群のエイサー部の精鋭と東京音楽隊がコラボした演舞が創立記念行事に花を添えた。



第5航空群スコードロンマークの変遷について

第5航空群の前身である、沖縄航空隊（昭和48年10月新編）で使用されていたスコードロンマーク。由来等は、記録に残っていない。



昭和56年7月から令和4年4月まで約40年間使用してきたスコードロンマーク。

守礼の門をモチーフに、背景の青で沖縄の空の青、海の青を表現し、沖縄県の県花であるデイゴの花びらをあしらい隊員の熱意・情熱を表したデザイン。

令和4年4月17日、第5航空群創立50周年の節目に新たなスコードロンマークへ変更。
沖縄県の守り神であるシーサーをモチーフに日本の南西海域を守る第5航空群をイメージしたデザイン。



着任挨拶



第5航空隊司令
1等海佐 酒井 尚久

令和3年12月6日付第5航空隊司令として、海上幕僚監部防衛部運用支援課(市ヶ谷)から着任した酒井です。初の沖縄勤務を非常に嬉しく感じるとともに、東シナ海を始め我が国周辺海域における安全保障環境の厳しさに接し、身の引き締まる思いで日々勤務しています。

新型コロナウイルスの感染拡大が2年以上経過するも未だに収束時期は不透明である中、我々第5航空隊の隊員一同が警戒監視任務を始めとする日々の任務を濟々と遂行できるのは、地域の皆様方の温かいご支援の賜であると、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

げます。一日も早くコロナ禍が収束して再び地域の皆様方と活発に交流できる日が来ることを心から待ち望んでいます。

より厳しさを増す安全保障環境やコロナ禍など、種々の向かい風にも怯むことなく、精強かつ活気に溢れ、国民の皆様から信頼される部隊を目指し、我々第5航空隊は一丸となって努力して参ります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



着任挨拶



第5整備補給隊司令
1等海佐 花田 博光

このたび石田前司令の後任として、昨年12月1日付で第5整備補給隊司令として航空補給処(千葉県木更津市)から着任しました花田でございます。

沖縄二火会はじめ、沖縄海友会、沖縄県防衛協会、沖縄県隊友会、沖縄自衛隊家族会の支援団体の皆様には、平素から第5航空群、第5整備補給隊に対して格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

出身は、山口県光市で、平成7年入隊以来、航空機の整備の仕事を中心に取り組んでまいりました。前配置の航空補給処では、海上自衛隊が保有する航空機の部品の調達、修理を担当しておりました。

沖縄勤務は、平成12年から2年間、平成20年から2年半と過去2回勤務しており、今回で3回目となります。過去勤務していた当時の広報誌「でいご」を拝見し、第27回(平成13年5月)那覇ハーリー大会で準優勝した記事、那覇マラソンに参加した記事等とても懐かしく、5空群の歴史を広報誌「でいご」で振り返ることができました。今回の勤務においても広報誌「でいご」の記事になるように積極的に活動していきたいと思っております。

整備補給隊は、第5航空群が保有する航空機を常に任務に即応でき、また、安全を確保できるように維持、整備、補給することを任務としております。任務が達成できるように隊員一丸となって取り組んでまいりますので引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「第48次派遣海賊対処行動航空隊司令挨拶」



第5航空隊
2等海佐 松川 広司

第48次派遣海賊対処行動航空隊司令の松川2佐です。今回、派遣海賊対処行動航空隊の概要等について寄稿する機会をいただきましたので、この場をお借りして紹介させていただきます。

海上自衛隊は、2009年7月に施行された「海賊対処法」に基づき、P-3Cを2機、アフリカのジブチ共和国に派遣し、海賊対処任務にあたっていきます。任務活動の場となるソマリア沖・アデン湾の海域は、年間約1,600隻の日本関係船舶が通行するなど、日本の暮らしを支える重要な海上交通路です。当該海域では、2008年以降、海賊事案が多発し、一時は年間200件以上が生起する事態となっていました。近年は、

海上自衛隊を含む、各国海軍等による国際的な取組みもあり、発生件数は低い水準で推移していますが、引き続き警戒監視の手を緩めることなく、海上交通路の安全を維持し続けることが、日本の国益を守るために必要です。また、中東地域の緊張が高まる情勢下、日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集態勢を強化するため、2020年1月20日以降、派遣部隊は海賊対処行動に加え、情報収集活動にも従事しています。我々は第48回目の派遣部隊、「第48次派遣海賊対処行動航空隊」として、5月24日に日本を出国しました。第48次隊は、勤務方針に「正義」を掲げ、日々の任務に邁進しております。勤務服の右胸に「JAPAN」を掲げていることに対する責任感と誇りを持ち、我が国の国益を守るとともに、国際社会の「正義」を全うするために、全力を尽くす所存です。

「第48次派遣海賊対処行動航空隊出国行事」

令和4年5月24日、第5航空群所属のP-3C哨戒機2機と派遣海賊対処行動航空隊、第48次隊要員(指揮官:松川2佐以下約60名)がアフリカのソマリア沖・アデン湾における海賊行為に対処するため、那覇航空基地を出発しました。



あいにくの小雨の中、那覇航空基地で行われた出国行事では、第5航空群の隊員をはじめ、派遣隊員のご家族の方々が見守る中、松川2佐が第5航空群司令に対して出国報告を行いました。なお、見送りは、那覇に残る隊員と派遣隊員のご家族のご家族で盛大に行いました。



派遣海賊対処行動航空隊の第48次要員は、通常の出国準備に加えて派遣前のワクチン接種や、出国2週間前からの停留など、引き続きコロナ禍での準備となりましたが、出国行事では皆が笑顔で出発して行きました。

支援団体(沖縄二火会、沖縄県隊友会、沖縄県自衛隊家族会)より第48次隊要員に対し、激励品をいただきました。指揮官の松川2佐は、停留中だったため第5航空群司令が代理として受け取りました。



沖縄二火会 佐久本会長



沖縄県隊友会 平田会長



沖縄県自衛隊家族会 古門会長

『防衛大臣感謝状贈呈式』

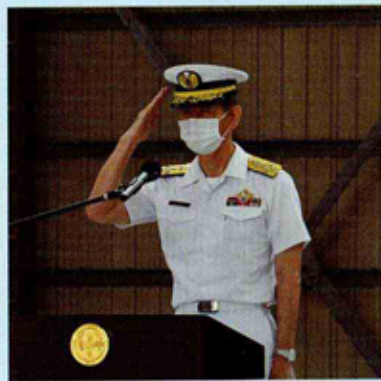
令和4年3月11日(金)海上自衛隊第5航空群協力団体「沖縄二火会」佐久本会長に対し、岸防衛大臣から「防衛基盤の育成と自衛隊員の士気高揚に貢献された功績」に対する感謝状が第5航空群司令から伝達されました。



海上幕僚長初度視察



令和4年5月30日(月)、第5航空群において海上幕僚長(海将酒井良)による初度視察が行われました。第5航空群司令出迎えの後、現状報告、構内視察等を実施し、各隊指揮官及び若手隊員との懇談を実施しました。また、訓示において、「本日、第5航空群の初度視察を行い、東シナ海に面し常に緊張を強いられる状況にあっても、それぞれの任務や職務に精強に、かつ愚直に取り組む所管の姿を見て、海上幕僚長として大変誇らしく思うと共に、この場を借りて諸君に敬意と感謝の気持ちを表します。」と、冒頭に述べられ、「後進の育成に努めることが重要である。人は育てなくては育たないということを十分に認識し責任と権限を与えて後進の育成に努め、人的縦深性を有する持続力ある部隊を構築することが大切です。第5航空群は降旗群司令の元、真摯に任務に取り組み、与えられた使命を遂行しつつ、後進の育成に努め、持続力ある部隊をさらに構築することを期待する」と述べられました。



航空集団司令官初度巡視



令和4年4月18日(月)、

第5航空群において航空集団司令官(海将二川達也)による初度巡視が行われました。第5航空群司令出迎えの後、現状申告、構内点検等を実施し、各隊指揮官及び若手隊員との懇談を実施しました。

た。訓示の冒頭において「那覇地区に所在する部隊に対する巡視を終え、国防の最前線において隊員諸官が真摯にかつ澁刺として任務に取り組んでいる姿を目の当たりにし、非常に頼もしく、また、心強く感じたところである。」と述べられ、「各部隊の隊員一人ひとりが、精強・即応の維持に努めることにより、より持続力のある部隊へと成長し、航空集団を未来へ飛躍させてくれるものと信じている。よろしく頼む。」と激励の言葉で締めくくられた。



叙勲受章者を祝う会

令和4年6月12日(日)、沖縄県隊友会(会長:平田喜彦)により、陸・海・空自衛隊出身者の「令和3年度春・秋の叙勲(防衛功労)受賞者及び令和3年度危険業務従事者叙勲受章者を祝う会」を実施していただきました。隊友会の皆様ありがとうございました。

海上自衛隊出身受章者

賞賜	氏名	退職時階級	主要経歴	区分
瑞双	加藤 晴夫氏	元1等海佐	岩国航空基地隊副長	防衛功労
瑞双	山口 俊郎氏	元2等海佐	情報本部	危険業務従事者
瑞双	狩俣 政和氏	元3等海佐	沖縄基地隊	
瑞双	屋島 博之氏	元1等海尉	第5航空群司令部	
瑞双	小野 透氏	元1等海尉	第5整備補給隊	
瑞双	池田 順一氏	元2等海尉	那覇航空基地隊	

叙勲受章を祝う会



第5航空群家族支援について

第5航空群司令部 厚生専門官

第5航空群は、令和2年2月19日に、「大規模災害時等における派遣隊員の家族支援に対する協力に関する協定」を締結しました。これは、各自衛隊において部隊等が実施する家族支援の更なる充実を図ることを目的とし、沖縄県の自衛隊支援団体である沖縄県自衛隊家族会と沖縄県隊友会、沖縄県所在の陸上自衛隊那覇

駐屯地、航空自衛隊那覇基地、海上自衛隊第5航空群及び沖縄基地隊、自衛隊沖縄地方協力本部との間において結ばれたものであり、大規模災害等が発生し、各駐屯地等に所属している隊員が災害派遣等に従事する際に、支援団体管轄区域に居住する派遣隊員の家族に対し、安否確認や生活支援等への協力について締結していただいたものです。現在、第5空群で支援を要望する隊員家族について、支援団体との調整を実施しています。



「海軍戦没者慰霊祭」

日露戦争での日本海海戦117周年にあたる令和4年5月27日（海軍記念日として制定されたが戦後に廃止）、沖縄県豊見城市の「海軍戦没者慰霊之塔」において3年ぶりに「第60回海軍戦没者慰霊祭」が一般社団法人沖縄海友会主催により執り行われました。第5航空群は自衛艦旗の掲揚・降下、ラッパ吹奏、儀仗隊による弔銃発射等について隊員を派出し、行事支援を行いました。

当日は、梅雨空の曇天の中、沖縄海友会会長 門馬規雄氏、大田實海軍少将の御三男落合峻氏をはじめめとする、ご遺族、旧海軍出身者と海自OBからなる海友会会員、陸・海・空・沖縄地方協力本部の各指揮官、前任伍長等が参列し、献花を行うなどして戦没者に哀悼の誠を捧げるとともに、恒久平和を祈念しました。

門馬会長は祭文の中で、海軍沖縄方面根拠地隊司令官の大田實少将が残した、沖縄県民の将来に思いを致され「沖縄県民斯克戦えり県民に対し後世特別のご高配を

賜らんことを」と結ばれた700字にのぼる海軍次官宛ての電文は、正に「歴史の証言」であり、戦争の悲惨を切実と訴えておられ恒久平和への祈りと誓いを新たにするものであります。」と述べられるとともに、「本年は沖縄の祖国復帰50年の節目となりますが、今もここ沖縄は、日本の外交及び防衛上の焦点となっており、日々緊張が高まる中において、私達県民が安心して過ごせるのも、正に周辺の海と空を警護して下さる陸・海・空自衛隊及び海上保安庁並びに在沖米軍のお蔭と感謝致しております。これからも県民に対する防衛意識の高揚及び自衛隊に対する理解の促進について積極的に支援し、その崇高なる任務遂行が円滑に行われますよう、県内各友好団体と協力し支援して参ります。」と述べられました。



自衛艦旗掲揚（5空群掲揚員・儀仗隊）



沖縄海友会 門馬会長（祭文奉納）



第5航空群司令 降旗海将補（献花）



事前清掃活動（沖縄海友会、那覇航空基地上曹会）



海上自衛隊 第5航空群 公式 SNS・広報ラジオ「美ら海の防人」



第5航空群公式
ホームページ



海上自衛隊第5航空群では、SNSを活用した情報発信を行っています。
隊員のオフショットや「海自あるある」など紹介していきます！
TwitterやInstagramで「jmsdf_5aw」で検索！たくさんのフォローお待ちしております！

また、沖縄県に在籍する陸・海・空自衛隊及び沖縄地本が週替わりで自衛隊について放送する広報ラジオ「SDF アワー」にて第5航空群では「美ら海の防人」という番組を担当し皆様にお送りしています。
番組に関するお便り、ご質問要項及び年間放送スケジュールは、第5航空群ホームページにて確認できます。
番組で紹介させていただいた方には、もちろん海上自衛隊（第5航空群）オリジナルグッズをプレゼント！
下記のQRコードよりアプリをダウンロードすれば全国どこでもお聴きいただけますので是非お聴きください。
お便りもお待ちしております！



Twitter
jmsdf_5aw



Instagram
jmsdf_5aw



放送局（周波数）
FMレキオ（80.6MHz）/ FM21（76.8MHz）
FMもとぶ（78.2MHz）
毎週金曜日 20:00～21:00
※再放送日（FMレキオのみ）日曜日 21:00～22:00



「でいご」に関するご意見、ご感想、寄稿などがございましたら、
沖縄二火会事務局または第5航空群広報室までご連絡ください。

■ 沖縄二火会

事務局長 後関 光利
oknikakai@yahoo.co.jp

■ 第5航空群広報室

5aw-ckouhou@inet.msdf.mod.jp
那覇市当間 252
☎ 098-857-1191（内 5231）

編集協力委員

- 首席幕僚 川畑 1佐
- 広報室長 土橋 3佐
- 群司令部 川村 2尉
- 5空 菊地 1尉
- 5整備隊 上地 2尉
- 那空基 堀 2尉
- 広報室 今村 曹長

